

## 軽井沢周辺の温泉

軽井沢周辺には、活火山の浅間山があり、とても良い温泉が湧き出ている。星野温泉、歴史の古い塩壺温泉をはじめ、ゆうすげ温泉、千ヶ滝温泉、天狗温泉、大谷地鉱泉、奥軽井沢温泉、鬼押温泉、中柵音宴、あぐりの湯などがある。私が実際に入浴した知名度の高い下記4つの温泉を紹介します。近くには、硫黄臭が漂う湯畑のある自然湧出量日本一の日本三名湯である草津温泉があるが、酸性度と湯温度が高く軽井沢の温泉は弱アルカリ炭酸泉なので、私の身体に合っているので軽井沢の温泉を利用している。

### 1. 星野温泉/トンボの湯（軽井沢町星野）

大正4年開湯され、避暑地軽井沢の名湯として最大規模を誇っている。トンボの湯は、美肌の湯として知られ、北原白秋や北与謝野晶子も入浴したと伝えられ、温泉かけ流しの立ち寄り湯で多くの人から愛されている。秋には、赤トンボが飛び、いつも小鳥が囀っている。並列して村民食堂がある。軽井沢に別荘を持った頃は必ず入湯していたが、体に掛け湯しないで直接入浴するアジヤ系外人が急増し芋を洗った様に混雑しており、地元民は警戒し私も行かなくなってしまった。



### 2. 塩壺温泉（軽井沢町塩壺）

源頼朝が発見したという伝説がある歴史ある温泉で無色透明の弱アルカリ炭酸泉で、肌ざわりが良く温まり胃腸や神経痛に効き、日本庭園を眺めながらリスや野鳥が間近に見られる温泉である。豪華さは無く地味な湯であるが、温泉好きには好まれると思うが、温泉への道路が狭く急な坂道なので運転の下手な私は避けている。



### 3. ゆうすげ温泉（軽井沢町長倉古宿）

鎌倉時代に発見された無色透明の塩化物硫酸塩泉で、効能は温熱効果・動脈硬化・疲労回復の弱アルカリ炭酸温泉である。温泉と言うよりは、入浴料も安く町の銭湯（お風呂屋さん）と言った温泉である。並列して、テニスコートがあり汗を流しての入浴効果や「川魚料理ゆうすげ」があり同食事処の川料理が有名だが、鰻重が美味しく地元民は天麩羅そばを食べている。私達は、何時訪れてもどちらかを頂いている。



### 4. 千ヶ滝温泉（軽井沢町千ヶ滝温泉）

季節を通して美しく彩られる風景。透き通る柔らかい湯は、肌に優しくうるおいを与えてくれる。泉質は、ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物温泉で、効能として神経痛・筋肉痛・関節痛・慢性消火器病・疲労回復などがある。

混雑している前述のトンボの湯に比べ、入浴者数が少なく清潔で湯が澄み切っている。車の運転が苦手な私には、駐車場が広く何処にでも自由に駐車出来るので特に気に入っている。軽井沢に滞在中は、1週間に1回は必ず入浴をしている。露天風呂横に流れる谷川にはヤマベやイワナが居そうであり、周辺の山道を探索しているカモメランなど山野草の群落があり、時間を掛けて探すと貴重な山野草が生息していると思われる。

ただ、欲を言うと脱着室が下駄箱と離れており暗証番号なので、お年寄りには複雑で使い勝手が悪いと思う。むしろ、お風呂屋さんやスポーツセンターの様に、鍵で靴と脱着室が同場所にあり簡単に開閉出来れば良いと思う。



2018年6月28日

横林寛昉